

第7-8号

耕人

『耕人塾』
塾長 木村 民男
平成30年12月15日(土)

第7期『耕人塾』の1年を振り返って

第7期『耕人塾』も本日の13回の活動を持って修了することになります。多くの方々の支えと塾生の皆さんの頑張りによって、今年度も意義ある活動が展開できました。特に、第7期は市民や各団体と連携できたことが大きな成果です。1年間の活動を振り返ってみたいと思います。

第1回 5/19 (石専大) 開塾式：第7期は「ワクワクドキドキ」の楽しさをコンセプトに、「主体性」を持って参加するために、「+1 (プラスワン)」の目標を各自に考えてもらった。

第2回 6/16 (石専大) 「プロジェクトK (耕人塾、川開き、志、協力、工夫、行動、交流、感謝、感動)」を成功させるためのキャッチコピー「まごべえもうらやむ美しいまつりに」に決定。

第3回 7/14 (石専大) 「プロジェクトK」の実践方法を討議。キャッチコピーを「まごべえもよろこぶ美しいまつりに」に変更。ポスターや動くゴミ箱の制作、ゴミゼロステーションの設置。

第4回 7/30 (女川駅前) 「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」実践活動。女川駅周辺はゴミが少なかったが、女川中学校の生徒や先生方の協力があり96名の参加で、郷土愛や奉仕の心などを学んだ。

第5回 8/1 (川開き祭り会場) 川開き祭り当日、35度を超す炎天下での「プロジェクトK (ゴミ拾い活動)」を実践、石巻市環境保全リーダーの会等5団体と連携しての活動は成果大であった。

第6回 8/2 (中瀬公園・中央通り) 川開き祭り翌日の早朝(5:30~6:30)ゴミ拾い活動。『耕人塾』1期生や塾生の家族なども協力し、36名の参加であった。昨年よりゴミの量が減っている。

第7・8回 8/4,5 (土田畑村) 宿泊研修「雅楽を極めよう」(中村仁美先生)、「ラジオ体操を極めよう」(松尾智子先生)、「文武楽三道について」(塾長)、「キンボールを極めよう」(指導委員長)などの体験。

第9回 8/26 (矢本駅前) 「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」実践活動。「東松島夏祭り」の翌日早朝(6:30)に駅前周辺等のゴミ拾い、東松島リトルリーグの中学生や保護者の協力もあり、約40名の参加。

第10回 9/14 (石専大) 「茶道を日常生活に生かす」(石田邦子先生) 茶道の心得やお手前の披露の後、塾生にお茶がふるまわれた。茶道を通して学んだことについてグループ討議後、全体発表。

第11回 10/13 (百俵館) 「プロジェクトI (であい・ふれあい・かわりあい)」挨拶：石巻・川の上プロジェクト理事長三浦信行氏、講師：石巻けし作家林貴俊氏、ISHINOMAKI2.0理事長斉藤誠太郎氏、フィッシャーマン・ジャパン事務局高橋由季氏。

第12回 11/17 (百俵館) 前回学んだことを中心に、1カ月の中で実践したことをグループで発表。「20年後に住みたい石巻」について、グループ討議後ホワイトボードにまとめ、全体会で発表。

第13回 12/15 (石専大) 「石巻市政策コンテスト」で最優秀賞を獲得した石巻専修大学学生の「20年後に住みたい石巻」の発表を聞き、来年度の取り組みについて意欲を喚起する。その後閉塾式。

1年間の活動を振り返ると塾生一人ひとりの顔が浮かんできます。勉強や部活動で忙しいにもかかわらず、石巻地域をさらに住みよいまちにするための高い志を持ち、活動してくれたことに感謝いたします。また、『耕人塾』を支えていただいた多くの方々に衷心より御礼申し上げます。

第8期『耕人塾』に向けて

東日本大震災から7年9カ月が経ち、復興が進みつつあります。橋や護岸工事が進み、中心部にはビルやマンションが建ち、郊外には新しい街並みや商店街ができつつあります。しかし、心の復興はこれからです。大事なものは、それぞれの生活基盤の確立と地域コミュニティの形成です。地域コミュニティは自分が住んでいる地域への郷土愛や感謝を形に表すことから生まれると考えます。その根っこは、『耕人塾』で取り組んでいる「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」にあると思っています。来年度は、他の団体との連携をさらに強め、石巻地域に「感謝や奉仕の心」の大きなうねりを起こしていきたいと考えています。心の復興のために、第8期は『耕人塾』の飛躍の年にし、塾生の皆さんと「ワクワクドキドキ」した活動を創造して「世界に誇れる石巻地域」にしていきたいと思っています。来年度も『耕人塾』に参加してみませんか？友達と一緒に！